

数学

神戸大学[文系] (前期)

<全体分析>

試験時間	80分	解答問題数	3題
------	-----	-------	----

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)
難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴

2のような融合問題が多く出題される。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

3が理系との共通問題であった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	整式の除法, 積分法	数学II	(3)は放物線と直線で囲まれた部分の面積。	標準
2	2次関数, 数列	数学I 数学B	(1)は数学的帰納法を用いる。	標準
3	場合の数	数学A	(3)では, 数の重複に注意し, (2)を利用する。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

数学IAIIBの各分野からまんべんなく出題されているから、各分野をバランスよく学習すること。さらに過去問の研究を通して融合問題まで手を広げておきたい。

また、**2**(1)のように、証明を含んだ問題も出題されるからしっかり学習しておこう。